

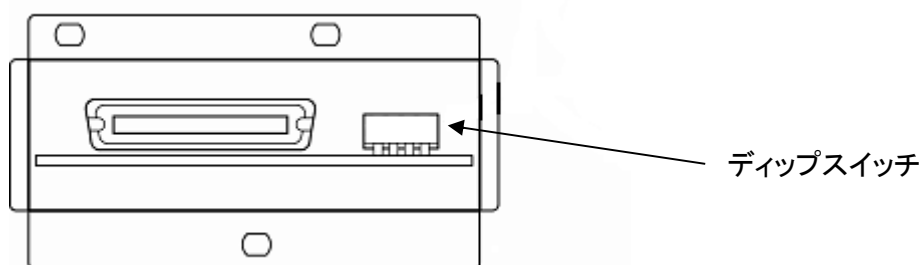
IFBD-NS02 の取り付け

このオプションボードは、下記プリンタ用の番号発券コントロールユニットです。

オプションボード	適用プリンタ
IFBD-NS02・・・番号発券コントロールユニット	FVP10 シリーズ

1. ディップスイッチの設定

ボードを取り付ける前に、必要に応じて IFBD-NS02 本体のディップスイッチの設定を行ってください。



製品出荷時は、全てONになっています。

DIP SW	機能	ON	OFF
DIP SW-1	印刷枚数	2枚綴り	1枚
DIP SW-2	発券番号リセット	自動(日付更新でリセット)	手動
DIP SW-3	発券フォーマット	下表参照	
DIP SW-4			
DIP SW-5	印刷枚数	1枚/2枚 DSW1により決定	3枚綴り
DIP SW-6	バーコード	無し	有り
DIP SW-7	日時印刷	有り	無し
DIP SW-8	番号拡大	有り	無し

発券フォーマット

DIP SW-3	DIP SW-4	OFF
ON	ON	固定フォーマット B (発券番号 4 桁)
ON	OFF	固定フォーマット A (発券番号 3 桁)
OFF	ON	ロゴ使用フォーマット A (発券番号 4 桁)
OFF	OFF	ロゴ使用フォーマット B (発券番号 4 桁)

※ ロゴ使用フォーマットを使用する場合には、FVP10 本体へのロゴ登録が必要です。
詳細はご購入先にお問い合わせください。

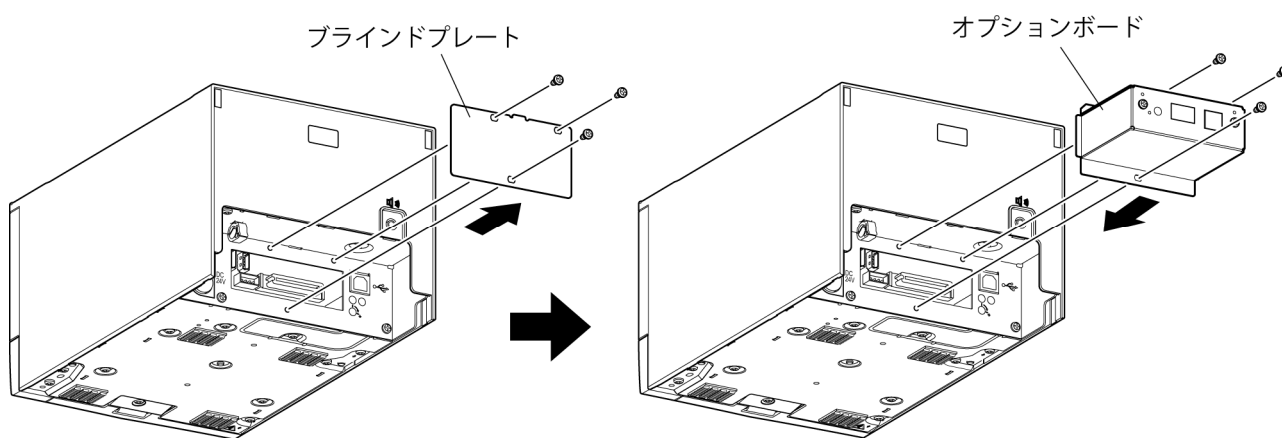
2. 番号発券コントロールユニットの取り付け

- ① 電源スイッチを OFF にしてください。
- ② ACアダプタを接続している場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いた後に、プリンタ側の電源コネクタからプラグを抜いてください。

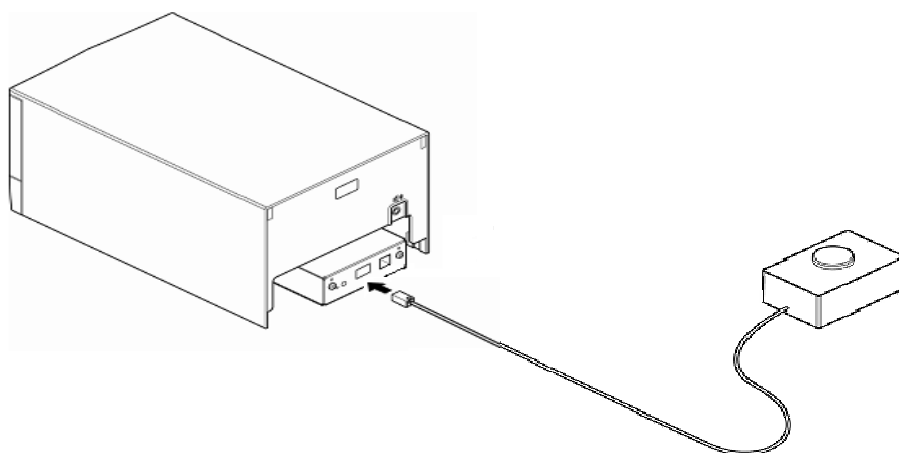
⚠ 注意

故障の原因になりますので、IFBD-NS02 を取り付ける時は、絶対にACアダプタを接続しないでください。

- ③ プリンタ背面のブラインドプレートを取り外してください。
- ④ プリンタのインターフェイスコネクタへ番号発券コントロールユニットのコネクタを差し込んでください。
- ⑤ 取り外した3本のネジを使って、番号発券コントロールユニットを固定してください。

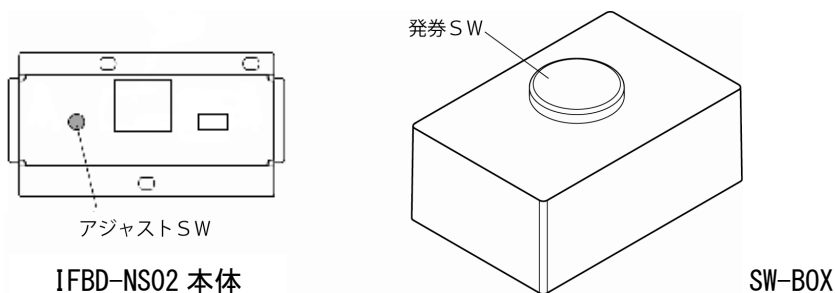


- ⑥ SW-BOX のコネクタを IFBD-NS02 背面のコネクタに挿入してください。



- ⑦ 添付の両面テープを使って、SW-BOX を任意の場所に固定してください。

IFBD-NS02 の操作方法



※ 以下は発券番号 4 桁設定の場合について説明します。
(発券番号 3 桁設定の場合、千の位はありません。)

1. 発券手順

- ① 発券 SW を押した後、発券 SW を離した時に印刷を開始します。
 - ② 印刷後、「番号札をお取りください」という音声を発します。
印刷が終わり、音声を終了するまでは、次の発券を受け付けません。
発券番号は MAX “9999” まで印字し、“9999” の次は“1”を印字します。
- ※ 電源が切られても発券番号はリセットされません。

2. 発券番号確認手順

アジャスト SW を押すと、次回発券される番号が印刷されます。
(2秒以上押したままにすると発券番号のリセットモードに移ります。)

※ 印刷後は発券モードに戻ります。

3. 発券番号調整手順

次に発券する番号の設定が可能です。

※ 外部表示器の接続が必要です。

※ 設定後は、設定された発券番号から連番の番号で発券します。

- ① アジャスト SW を押しながらプリンターの電源を入れると、外部表示器に、“0001” が点滅表示され番号調整モードに入ります。表示が出たら、アジャスト SW から手を離してください。
 - ② この状態で発券 SW を押す毎に、千の位がカウントアップされます。
 - ③ アジャスト SW を押すと百の位が変更対象になります。
この状態で発券 SW を押す毎に、百の位がカウントアップされます。
 - ④ アジャスト SW を押すと、十の位が変更対象になります。
この状態で発券 SW を押す毎に、十の位がカウントアップされます。
 - ⑤ アジャスト SW を押すと、一の位が変更対象になります。
この状態で発券 SW を押す毎に、一の位がカウントアップされます。
 - ⑥ アジャスト SW を押し表示が点滅した後、発券スイッチを押すと、設定した数が次回発券の番号となります。
- 設定変更後は、一度電源を切り、再度電源を入れてください。**

アジャスト SW を押すごとに、“千の位→百の位→十の位→一の位→設定値書込”の順で操作します。

4. 発券番号のリセット手順

アジャスト SW を2秒以上押し続けることで、発券番号がリセットされます。

この時、発券SWを同時に押すと、発券番号調整にて設定した値に戻ります。

リセット後、次回発券番号を印刷し、発券モードに戻ります。

5. 時刻の調整手順

以下いずれかの手順にて、内部時計 IC の時刻変更が可能です。

(製品出荷時には、正しい時刻に設定されています。)

手順1は時報に合わせてリセットする方法で、最大±29分までの誤差を修正します。

手順2は年月日時分を入力する方法で、外部表示器の接続が必要です。

手順1

- ① プリンターの電源を切り、発券スイッチを押しながら電源を入れ、発券スイッチを離します。
- ② 時報に合わせて発券スイッチを押します。
- ③ 時刻リセット終了後、現在時刻を印刷し、発券モードに入ります。

手順2

- ① プリンターの電源を切り、発券スイッチを押しながら電源を入れ、発券スイッチを離します。
- ② アジャスト SW を押すことで、時刻調整モードに入ります。
- ③ 下記の SW 操作を行い、ご希望の年月日時間に調整してください。

アジャスト SW を押す ⇒ 西暦(下2桁)→月→日→曜日→時→分→設定保存
の順番で操作します。

設定変更後は、一度電源を切り、再度電源を入れてください。

曜日は以下の番号で表します。

“1”=日、“2”=月、“3”=火、“4”=水、“5”=木、“6”=金、“7”=土

表示器の4桁の数字のうち、左端の1桁に設定中の項目番号が表示されます。

“1”=年、“2”=月、“3”=日、“4”=曜日、“5”=時、“6”=分

発券 SW を押す毎に表示されている内容がカウントアップされます。

秒は、自動的に、“00” にセットします。

※ ありえない日時(32日、25時など)に設定しないでください。

※ 本製品は、時計機能を内蔵しており、電源 OFF することによって時刻がリセットされることはありません。
うるう年は内部計時 IC により、自動的に処理されます。

6. 内蔵時計エラー

内蔵時計がバッテリーの電圧低下や何らかの原因によって停止した場合は、電源 ON 時に案内が印字されます。

5. 時刻の調整手順に従って、調整を行って下さい。

※ 当案内が頻繁に出る場合は、お手数ですが、ご購入先にお問い合わせください。

7. 設定内容の確認手順

本機のファーム Ver.、Dip. SW. 設定、次回発券番号、現在日時を確認したい場合は、一度電源を切り、アジャスト SW. と発券 SW. を押しながら電源 ON すると設定内容が印字されます。